

# = 普及情報 =

No. 4

令和元年6月28日

東部農林振興センター出雲事務所農業普及部

標題	「もっと恋しよ 縁むすぶどうプロジェクト」がぶどう祭りで出雲ぶどうをPR
----	--------------------------------------

(ダイジェスト)

6月16日に、出雲市の女性ぶどう生産者を中心に結成された「もっと恋しよ 縁むすぶどうPJ」が、島根ワイナリーで開催された「ぶどう祭り」に参画し、出雲ぶどうをPRしました。

「もっと恋しよ 縁むすぶどうPJ」は、平成30年11月に策定された「ぶどう産地活性化プラン」の実現に向けて、1～2週間に1回のペースで各種企画の協議を重ねていますが、この活動の一環として6月16日に島根ワイナリーの「ぶどう祭り」で出雲ぶどうのPR活動を実施しました。

当日は、プロジェクトメンバーによる、ぶどうに関する〇×クイズ、デラウェア1房の重量当て、粒数当てなどが行われました。

また、6月の3週目はデラウェアの出荷最盛期となるため、父の日のギフトとしてのデラウェアが定着することを目指し、デラウェアの販売とともに、父の日用メッセージカードの頒布が行われました。

さらに、新規就農相談コーナーの設置や、14日に開催されたぶどう部会品評会で入賞した2kg箱入りのデラウェアの展示も行われました。

新たな企画ということもあって、告知方法などに関して、来年に向けた課題も見つかり、来年は、より一層、充実したイベントとなるよう検討していきます。

今後、「もっと恋しよ 縁むすぶどうPJ」では、出雲ぶどうの認知度アップに向け、ぶどう祭りなどのイベント用のスイーツの開発も計画しています。

当普及部では、今後も県内外における出雲ぶどうの認知度アップを後押しするとともに、消費拡大等、産地再生に係わる様々な取り組みを支援していきます。



新規就農相談コーナー